

第3回（令和4年度）スポーツ振興助成

（スポーツ振興奨励賞・スポーツ特別振興奨励賞）受賞者一覧

（所属等は令和4年度）

氏名・グループ名	スポーツ振興奨励賞 対象理由
<p>面手 凛 （めんで りん） 【山陽学園中学校第3学年】</p>	<p>「令和4年度全国中学校体育大会 第53回全国中学校卓球大会」の卓球女子個人シングルス第1位。また、同大会の卓球団体戦においても、山陽学園が第3位という好成績を収めているが、その団体メンバーの一員として貢献した。他の今年度の主な戦績として、世界ユース大会国内選考会においてU15部門で優勝している。</p> <p>岡山県内出身（玉野市）で、これまで日々地元岡山で精進を重ね、全国1位という優秀な成績を収めたその努力を称える。</p>

氏名・グループ名	スポーツ振興奨励賞 対象理由
<p>ドルーリー朱瑛里 （ドルーリーしえり） 【津山市立鶴山中学校第3学年】</p>	<p>「令和4年度全国中学校体育大会 第49回全日本中学校陸上競技選手権大会」の女子1500m第1位。他の今年度の主な戦績として、JOCジュニアオリンピックカップ 第53回U16陸上競技大会の女子1000m第1位。また、第41回全国都道府県対抗女子駅伝大会の3区に出場し、素晴らしい走りでも区間新記録をマークした。同大会で活躍した選手に贈られる「未来くん賞」も受賞している。</p> <p>岡山県内出身（津山市）で、これまで日々地元岡山で精進を重ね、全国1位という優秀な成績を収めたその努力を称える。</p>

氏名・グループ名	スポーツ振興奨励賞 対象理由
<p>倉敷高等学校 陸上競技部</p>	<p>男子第73回全国高等学校駅伝競走大会という歴史ある大会で、歴代最長の45年連続45回目の出場を果たし、大会記録を8秒更新する2時間1分10秒で、4年ぶり3回目の優勝という偉業を成し遂げる。大会新記録樹立は7年ぶりの快挙。</p> <p>長年にわたり高い競技力を維持し続け、過去7大会連続入賞、優勝2回という全国屈指の強豪チームとして活躍を続けている。また、記録の追求だけでなく、挨拶や礼儀を基本とした人間形成を軸に、地道な努力を積み重ねている。</p> <p>全国の強豪校であるとともに、駅伝で培った人間力で社会に貢献できる人材育成を目指している。</p>

氏名・グループ名	スポーツ振興奨励賞 対象理由
山根 美千義 (やまね みちよし) 【阪神溶接機材(株)所属】	<p>地元開催の第 60 回岡山国体にてカヌー競技スプリント少年男子で優勝。第 69 回でのワイルドウォーターでの優勝を皮切りに、第 72 回 (2017 年) ～第 77 回 (2022 年) の 4 大会連続 (75、76 回は中止) で優勝。計 7 度の優勝を誇る。</p> <p>現在は中学 3 年生の娘も同じ競技で国体に出場しており、父として、又、競技の先輩として奮闘している。年齢としては大ベテランの域に達しているが、日本のトップアスリートとして毎日のトレーニングに励んでいる。加えて、高校生と合同で水上練習を行うなど、若手の育成にも力を入れている。</p>

氏名・グループ名	スポーツ振興奨励賞 対象理由
奥山 琴未 (おくやま ことみ) 【岡山商科大学附属高等学校第 3 学年】	<p>上道中学在学中の全日本中学校大会において、1 年生で中 1 最高記録、2 年生で中 2 最高記録、3 年生で大会新記録の成績で史上 2 人目の連覇を達成。</p> <p>令和 4 年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会・秩父宮賜杯第 75 回全国高等学校陸上競技対校選手権大会にて女子砲丸投第 1 位 (2 年連続)。第 77 回国民体育大会陸上競技会少年女子 A 砲丸投第 1 位と、安定した素晴らしい成績を収めた。</p> <p>今後更なる高みを目指し、フォーム改造にも取り組み、将来の日本陸上競技界ホープとして期待される。</p>

氏名・グループ名	スポーツ振興奨励賞 対象理由
土井 陵輔 (どい りょうすけ) 【日本体育大学 3 年生】	<p>2024 年パリオリンピック予選を兼ねる第 51 回世界体操競技選手権大会において、男子団体第 2 位、男子ゆか第 3 位の快挙を成し遂げ、日本の団体出場権を獲得する。</p> <p>また、第 61 回 NHK 杯 (2022 年) において個人総合第 3 位、第 76 回全日本体操競技種目別選手権大会において、ゆか第 2 位、あん馬第 5 位という好成績を収めている。</p> <p>ゆかを得意としているが、オールラウンダーとしても、今後の活躍が期待される。</p>

氏名・グループ名	スポーツ振興奨励賞 対象理由
岡山学芸館高等学校 サッカー部	<p>全国高校サッカー選手権に2大会連続5回目出場の出場を果たす。組織力の高さ、勝負力の強さをもって活躍し、2023年1月9日に東京・国立競技場で行われた第101回全国高校サッカー選手権決勝戦において、東山高校（京都）を破り、県勢初の優勝を飾った。</p> <p>1998年に創部以来、指導者と選手達が一体となって努力を重ね、夏の全国高校総体で2021、2022年にベスト8と輝かしい功績を残している。</p> <p>今後岡山スポーツ界において活躍を推進する団体として期待される。</p>

氏名・グループ名	スポーツ振興特別奨励賞 対象理由
平井 貴子 (ひらい あつこ) 【倉敷市立真備東中学校教諭】	<p>中島未莉（なかしま みれい）選手に小学6年生から高校3年生まで7年間指導を行う。中島選手は徐々に頭角を現し、中学3年時の冬季国体で2冠達成。</p> <p>コロナ禍で氷上練習が十分に出来ない中、陸上トレーニングを取り入れるなど工夫を重ね、高校3年生時に中島選手は再度国体で優勝を果たし、次のステップに進む中島選手との有終の美を飾った。</p> <p>2025年に岡山県にて開催される国民スポーツ大会冬季は、近畿以西では初となる。今後岡山において、スケート競技の更なる普及・発展のため引き続き尽力している。</p>